

「地域文化資源のデジタルアーカイブ」

懐かしい吉祥寺の写真のアーカイブ化に向けて

地域における昔の写真や映像などの文化資源を保存・共有・活用するデジタルアーカイブが様々な地域で取り組まれています。本講演会では、数多くの地域デジタルアーカイブを手掛けられてきた立教大学・長坂俊成教授に具体的事例とその意義や展望についてご講演いただきます。そして、吉祥寺の代表的文化資源である「吉祥寺今昔写真館」所蔵写真や成蹊大学の取り組みも紹介しつつ、今後の吉祥寺デジタルアーカイブの展開について語り合います。

5.21[sat]

|要申込 無料|

13:30 開場

14:00 開演

吉祥寺駅北口駅前（60年代）吉祥寺今昔写真館提供

講演内容

■「地域文化資源のデジタルアーカイブ」 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 教授・長坂俊成

長坂俊成教授ご略歴：1962年生まれ。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授兼社会学部メディア社会学科教授。専門はリスク学、防災危機管理、情報プラットフォームなど。慶應義塾大学大学院特別研究助教授、独立行政法人防災科学技術研究所主任研究員などを経て2013年4月より現職。社会貢献活動として自治体の災害対策支援、スマホアプリを利用したオーラルヒストリーのアーカイブ、災害やコミュニティの映像デジタルアーカイブ、モバイル建築を活用した応急住宅の社会的備蓄などに取り組む。

■「吉祥寺今昔写真館オンライン展覧会」 吉祥寺今昔写真館委員会

吉祥寺今昔写真館委員会：吉祥寺在住の写真家・愛好家が集まり持ち寄った写真を所蔵している団体で、2009年に設立。現在約40団体のサポート会員と、12名の委員で構成し運営している。所蔵写真は1000点にも及び、多くは昭和の初期から現在に至るまでの吉祥寺のまち並みや、人々の暮らしの移り変わりを写したものである。定期的な展覧会などを行いそれを多くの人に伝えようとにも写真集の出版、時には短編映画製作などによる継承にも取り組んでいる、吉祥寺大好き人間たちの会である。2014年に武蔵野市、2018年には成蹊学園と地域映像アーカイブ協定を締結している。

■「吉祥寺の文化資源デジタルアーカイブに向けて」 成蹊大学文学部 教授・見城武秀，同理工学部 教授・小川隆申 武蔵野商工会議所デジタルアーカイブ分科会 座長・矢口 功

日時

2022年5月21日(土) 13:30開場 14:00開演 16:00終了予定

会場

成蹊大学4号館またはオンラインライブ配信 [後日オンデマンド配信予定]
会場参加orオンライン参加をご選択いただけます。

お申込

下記URLまたはQRコードより 公式ウェブサイトにアクセスの上、5月20日23:59迄に申込フォームに氏名・メールアドレス等をご入力ください。 <https://www.seikei.ac.jp/university/sss/>

定員

会場参加:150名 オンライン参加:500名（先着順）

問合せ

成蹊大学Society 5.0研究所（受付時間 平日9:00~17:00）
Tel 0422 (37) 3549 ✉sss@jc.seikei.ac.jp

成蹊大学 SSS



※新型コロナウイルス感染症感染拡大状況により、大学での対面開催を中止する場合がございます。
詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。